

令和5年度 事務事業評価

単位：千円

事業通番 121105	第6次総合振興計画			款	2 総務費	課・係名	
	基本目標	暮らしやすさが実感できる村づくり	施策	安全安心な村づくりの推進	項	1 総務管理費	総務課
					目	1 一般管理費	総務係
事業名	防犯対策事業		予算額			決算額	
事業目的	防犯灯の新設及び維持管理、防犯カメラの維持管理を行う。 防犯関係団体と連携し事業を進める。		当初予算額	増減額	予算現額	事業費	2,763
	事業費	2,927	294	3,221	事業費	2,763	
	財源内訳				財源内訳		
	国庫支出金		0		国庫支出金		
	県支出金		0		県支出金		
	地方債		0		地方債		
	その他		0		その他		
	一般財源	2,927	294	3,221	一般財源	2,763	
事業の内容及び成果・今後の課題							
■ 事業内容及び成果							
内容		事業費(円)	内容・成果				
防犯灯新設		484,000	・ 区要望の防犯灯新設 6基：小見、北嶋、市之割、西町、中村（2）				
防犯灯維持管理		1,213,317	・ 各集落間にある村管理の防犯灯（130基）の維持管理				
防犯カメラ管理		917,180	・ 防犯カメラ（12基）の維持管理 （蛭川信号、ローソン横、保育園、ケヤキの森、上木島信号、農村交流館、観光交流センター、総合グラウンド上、糠千分館下、小学校下、中学校上、瑞穂木材前）				
防犯協会分担金		148,699	・ 飯水岳北防犯協会分担金				
合計		2,763,196					
■ 課題及び今後の取組み							
施設老朽化による故障が多発している（防犯灯16基（638千円））。都度修繕対応を行い、適切な施設の維持管理に努めるとともに、機器の交換修繕時には、LED灯に切り替えるなど、より費用と環境負荷の低い機器に更新をしていく。							

活動指標	項目					成果指標	項目				
	項目	単位	目標	実績	達成度		項目	単位	目標	実績	達成度
	区要望の防犯灯の新設	灯	4	4	100%		警察への防犯カメラデータ提供事件発生件数	件	0	2	0%
	村管理の防犯灯の新設	灯	2	2	100%		小中学生に係る登下校時の事件・事故数	件	0	0	100%
防犯パトロールの実施（毎週火・金、年92回）	回	92	61	66%					#DIV/0!		
担当評価	評価の根拠・説明・考察										
B	防犯灯の新設について、計画通り実施できた。防犯パトロールは、各課で当番職員を割り振っているが、パトロール車（公用車No. 2）が他業務で使用するなどして実施できなかった日がある。										
評価委員評価											
公共性	B	総合評価 (妥当性)	B	・村管理防犯灯の定期的確認が必要							
公平性	B										
有効性	B										
効率性	B										

令和5年度 事務事業評価

単位：千円

第6次総合振興計画				款 2 総務費	課・係名			
基本目標		暮らしやすさが実感できる村づくり	施策	項 1 総務管理費	総務課			
		安全安心な村づくりの推進		目 8 交通安全対策費	総務係			
事業通番 121701	事業名	交通安全対策事業		予算額				
			当初予算額	増減額	予算現額			
	事業目的	住民の安心・安全を守るための交通安全事業を推進する。	事業費	2,235	40	2,275	事業費	2,056
			財源内訳	国庫支出金	0		財源内訳	国庫支出金
				県支出金	10			県支出金
				地方債	0			地方債
				その他	213	213		その他
				一般財源	2,022	30	2,062	一般財源
事業の内容及び成果・今後の課題								
■事業内容及び成果								
内容		事業費(円)	内容・成果					
交通災害共済（公費負担）		800,800円	村民の方が一の交通事故に備えるため、東北信市町村交通災害共済への加入促進を行った。 （高校生以下及び高齢者（65歳以上）は公費負担。） 加入率 ・全体76.1% ・一般加入率（公費加入者を除いた加入率）53.5%（対前年+2.4）					
飯水岳北交通安全協会 活動資金補助金等		80,778円	・飯山市、野沢温泉村、本村の上部団体飯水岳北交通安全協会の活動費補助金73,000円 ・交通安全住民大会負担金7,778円					
安協木島平支部補助金 各区交通安全推進協議会 補助金		430,000円	年4回の交通安全運動（春4月11日から20日、夏7月22日から31日、秋9月21日から30日、年末12月15日から31日）、交通安全の啓発とイベント等の円滑な実施に向けた取り組みを行った。					
自転車用ヘルメット 購入支援事業補助金		14,590円	（R5新規）自転車ヘルメット着用の促進を目的に、村民のヘルメット購入費の一部を補助。 ・給付件数 9件（1/2補助上限2,000円）					
交通指導員謝金（@5,000×28人）		140,000円	保育園入園児啓発品		13,805円			
交通安全車管理費（リース、燃料等）		531,921円	交通災害共済業務処理委託料		44,000円			
			合計		2,055,894円			

・村内における交通事故発生状況

	件数	死者	傷者
前年度	4件	—	4人
今年度	3件	—	3人

・今年度 交通災害共済給付実績

申請件数	1件
給付件数	3件
給付額	98,000円

■課題及び今後の取組

交通安全協会役員と地区役員の軽減を図りながら、交通安全運動の取り組みを進める。

活動 指標	項目	単位	目標	実績	達成度	成果 指標	項目	単位	目標	実績	達成度
	交通安全運動	回	4	4	100%		交通死亡事故発生件数	件	0	0	100%
	春の交通安全教室（小学校）	回	1	1	100%						#DIV/0!
	3世代交通安全教室（おひさま保育園）	回	1	0	0%						#DIV/0!
担当評価		評価の根拠・説明・考察									
B		交通安全運動及び交通安全教室については、目標どおり実施した。3世代交通安全教室については、コロナ禍以降中止が続いている。 交通死亡事故については前年度に続き0件が達成できた。									
評価委員評価											
公共性	B	総合評価 (妥当性)	C	交通災害共済の事務手続きが煩雑であるため、改善されたい。							
公平性	B										
有効性	B										
効率性	C										

令和5年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画			款 8 消防費		課・係名																			
基本目標		計画に記載なし		施策		項 1 消防費		総務課																		
						目 2 非常備消防費		総務係																		
事業通番	事業名	非常備消防費			予算額			決算額																		
181201					当初予算額	増減額	予算現額																			
	事業目的	消防団の運営のほか各区における消防用品購入の補助などを行い、住民の安心・安全のための事業を行う。			事業費	43,263	▲ 5,092	38,171	事業費	37,001																
					財源内訳	国庫支出金	0		財源内訳	国庫支出金	0															
						県支出金	0			県支出金	0															
						地方債	3,300	0		3,300	地方債	3,200														
						その他	0	0		0	その他	0														
						一般財源	39,963	▲ 5,092		34,871	一般財源	33,801														
事業の内容及び成果・今後の課題																										
<p>■事業内容及び成果</p> <p>○消防団活動実績</p> <p>1 啓発活動 春の火災予防、消火器の斡旋、夏祭りの花火警戒、秋の火災予防、年末夜警ほか</p> <p>2 災害出動件数 6件（火災5件（原野4、住家1）、地震1件（R6.1.1能登半島地震 村震度4）</p> <p>3 行事 出初式、観閲式、ポンプ操法・ラッパ吹奏大会を実施。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>団員報酬 ※訓練手当出動手当等含む</td> <td>12,193,076円</td> </tr> <tr> <td>退職消防団員退職報償金19人分</td> <td>10,232,400円</td> </tr> <tr> <td>消防団員公務災害補償基金掛金、団員福祉共済掛金等</td> <td>6,698,492円</td> </tr> <tr> <td>消防施設整備事業補助金（区及び部の消火栓、ホース等）</td> <td>523,000円</td> </tr> <tr> <td>消防軽積載車購入（第二部）</td> <td>3,709,200円</td> </tr> <tr> <td>（新）団員用の雨衣兼防寒着を整備（30着）</td> <td>825,000円</td> </tr> <tr> <td>被服費、訓練消耗品、消防車維持管理費等</td> <td>2,819,550円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">合計</td> <td>37,000,718円</td> </tr> </table> <p>■課題及び今後の取組</p> <p>地域防災の中核を担う消防団組織について、災害が大規模かつ複雑多様化する中、少子高齢化による人口減少など、消防団を取り巻く環境が大きく変化してる。（新入団員の減、団員の高齢化、平日昼間の災害出動可能な団員の減少等）</p> <p>R4に条例改正により定員削減に取り組んだが、今後も継続して定員、組織再編等の検討を行う必要がある。</p> <p>・団員数（R6.1.8現在 定員261人 実員：255人）</p>											団員報酬 ※訓練手当出動手当等含む	12,193,076円	退職消防団員退職報償金19人分	10,232,400円	消防団員公務災害補償基金掛金、団員福祉共済掛金等	6,698,492円	消防施設整備事業補助金（区及び部の消火栓、ホース等）	523,000円	消防軽積載車購入（第二部）	3,709,200円	（新）団員用の雨衣兼防寒着を整備（30着）	825,000円	被服費、訓練消耗品、消防車維持管理費等	2,819,550円	合計	37,000,718円
団員報酬 ※訓練手当出動手当等含む	12,193,076円																									
退職消防団員退職報償金19人分	10,232,400円																									
消防団員公務災害補償基金掛金、団員福祉共済掛金等	6,698,492円																									
消防施設整備事業補助金（区及び部の消火栓、ホース等）	523,000円																									
消防軽積載車購入（第二部）	3,709,200円																									
（新）団員用の雨衣兼防寒着を整備（30着）	825,000円																									
被服費、訓練消耗品、消防車維持管理費等	2,819,550円																									
合計	37,000,718円																									

令和5年度 事務事業評価

活動 指標	項目					成果 指標	項目				
	項目	単位	目標	実績	達成度		項目	単位	目標	実績	達成度
	消防団幹部会の実施	回	5	5	100%		消防（水防）訓練参加者数	人	50	106	212%
	消防団部長会の実施	回	4	4	100%		救命講習参加者数	人	15	18	120%
	消防（水防）訓練の実施	回	1	1	100%		火災発生件数	件	0	4	#DIV/0!
救命講習会の実施	回	1	1	100%					#DIV/0!		
担当評価	評価の根拠・説明・考察										
B	新型コロナによる影響から4年度までは活動を縮小していたが、5年度は必要な活動を計画通り実施できた。夜警等防火に心掛けたが、火災発生件数は4件となった。（特に春先の野焼きが多い）										
評価委員評価											
公共性	B	総合評価 (妥当性)	B	・実状に見合う組織や活動の見直し必要か							
公平性	B										
有効性	B										
効率性	B										

令和5年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画		款	8 消防費	課・係名															
基本目標		暮らしやすさが実感できる村づくり	施策	項	1 消防費	総務課															
		安全安心な村づくりの推進		目	4 災害対策費	総務係															
事業通番	事業名	災害対策事業		予算額			決算額														
181401				当初予算額	増減額	予算現額															
	事業目的	住民の安心・安全のための災害対策事業を行う。		事業費	3,247	815	4,062	事業費	3,344												
		財源内訳	国庫支出金			0		国庫支出金													
			県支出金			0		県支出金													
			地方債			0		地方債													
			その他			0		その他													
			一般財源	3,247	815	4,062		一般財源	3,344												
事業の内容及び成果・今後の課題																					
<p>■ 事業内容及び成果</p> <p>防災無線や衛星携帯電話、Jアラートなどの維持管理を行う。</p> <table border="1"> <tr> <td>役場雨量計、防災気象システム、Jアラート、県防災行政無線等</td> <td>1,295,214円</td> </tr> <tr> <td>防災行政無線（48台）、衛星電話（2台）、震度情報システム</td> <td>1,627,752円</td> </tr> <tr> <td>村ぐるみ防災訓練（消耗品、資材等）</td> <td>181,659円</td> </tr> <tr> <td>防災倉庫前ゼブラゾーン</td> <td>77,000円</td> </tr> <tr> <td>R6.1.1能登半島地震（村震度4対応） 職員超勤</td> <td>162,140円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,343,765円</td> </tr> </table>										役場雨量計、防災気象システム、Jアラート、県防災行政無線等	1,295,214円	防災行政無線（48台）、衛星電話（2台）、震度情報システム	1,627,752円	村ぐるみ防災訓練（消耗品、資材等）	181,659円	防災倉庫前ゼブラゾーン	77,000円	R6.1.1能登半島地震（村震度4対応） 職員超勤	162,140円	合計	3,343,765円
役場雨量計、防災気象システム、Jアラート、県防災行政無線等	1,295,214円																				
防災行政無線（48台）、衛星電話（2台）、震度情報システム	1,627,752円																				
村ぐるみ防災訓練（消耗品、資材等）	181,659円																				
防災倉庫前ゼブラゾーン	77,000円																				
R6.1.1能登半島地震（村震度4対応） 職員超勤	162,140円																				
合計	3,343,765円																				
<p>■ 課題及び今後の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時において、迅速な災害応急対策が実施できるように「職員防災初動マニュアル」の周知徹底を図るとともに、職員一人ひとりが災害対応に必要な知識と経験を確実に習得するため、必要な訓練・研修を実施する。また、本マニュアルについては、「職員の安全の確保」と「適切な災害対応」とが適正に両立できるよう、訓練や実災害での対応を踏まえ、随時見直しを行う。 ・災害時備蓄品の分散備蓄を実施したが、能登半島地震を受け、さらなる品目の整備を計画する必要がある。 ・発災時に行政が機能しないことを前提とした自主防災組織の整備を進める必要がある。 （今年度新規自主防災組織1団体／今年度末自主防災組織12団体） 																					

令和5年度 事務事業評価

活動 指標	項目					成果 指標	項目				
	単位	目標	実績	達成度	単位		目標	実績	達成度		
	村ぐるみ防災訓練の実施	回	1	1	100%		村ぐるみ防災訓練参加者数	人	2500	2560	102%
	行政区長の防災研修の実施	回	1	1	100%		自主防災組織の数	組	10	12	120%
行政区への出前講座実施	回	1	1	100%					#DIV/0!		
担当評価	評価の根拠・説明・考察										
A	防災意識の啓発に取り組めた。防災訓練は、内容を精査しながら継続していくことが必要。引き続き自主防災組織の整備に取り組みたい。										
評価委員評価											
公共性	A	総合評価 (妥当性)	B								
公平性	A										
有効性	B										
効率性	B										